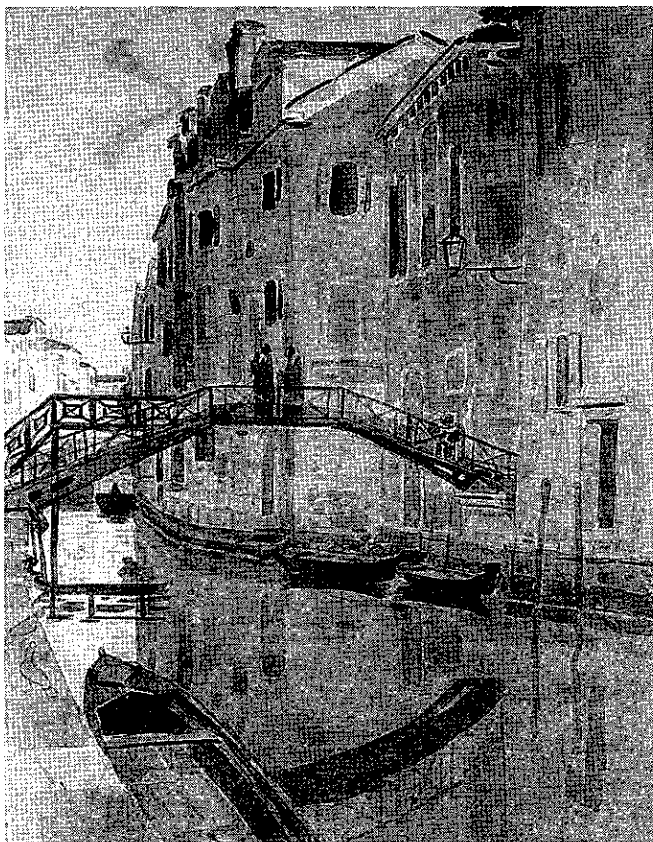




ヴェネツィア風景(水彩) 鹿子木 孟郎

明治29年(1896年)から3年半、津中学で教鞭をとる。平成2年9月29日～11月4日、三重県立美術館に於いて没後50年、鹿子木孟郎展が開催される。

題字は千草光洞氏(昭和23年卒)

波乱に富んだ平成元年もやがて終ろうとしています。同窓生各位にはよい一勝を占めて活躍することをお慶び申し上げます。また日頃は母校のために何かと配慮賜わり厚くお礼申し上げます。津高同窓会におかれましては、先日の代議員会で、本年、会長職にあられた吉原一真氏が勇退になり新しく副会長の辻嘉一氏が会長に就任され、同窓会が従来にも増して益々発展されることを心から願うものであります。

来年度は本校も創立百十周年を迎えることになります。同窓会では記念行事を種々計画されていると聞き及んでおりますが学校に



学校長 上野 喜久生

ご挨拶

おきまして、同窓会関係の諸行事、事業に積極的に参加させていただくと共に、毎年行われております文化祭を、来年度は記念行事関係に衣替えし、九月二日に同窓会・PTAの役員の方々をお招きして全校生徒、職員参加のもとに記念式典、記念講演会を開催し翌三日に同窓会及び一般市民公開の記念文化祭、資料展を予定しております。

想えば百年を超える永い伝統はまことに得がたく尊いものであり三万七千名もの先輩たちが各方面に残された業績は事にはすばらしいものがあります。百十周年記念行事を契機に伝統、歴史、校風、実績など本校の持つ恵まれた条件を活用して生徒に真の意味の実力をつけることを教育の中心に据えたいと思っております。

今後ともどうか愛校心、教導をお願いいたしますとともに、同窓生各位のご多幸を祈念してご挨拶いたします。



去る七月一日の同窓会代議員会において、吉原会長がご病床にあら

れるというところ、はからずも私が同窓会長に選出されました。一高卒のとり吉原副会長は永年、中央官界にあつてご活躍されていましたが、昭和四十九年郷里三重県副知事に迎えられ、昭和五十二年には、私達の希望をうけて津高同窓会長に就任、爾来十数年の

も母校創立百周年の記念事業を立派になしとげられたことは記憶に新しいところであり、広い知識と円熟したお人柄で、津高を同窓会をこよなく愛され、尽されたご功績に對し、に際する敬意と感謝を捧げる次第であります。今後は一日も早くご退任され、顧問として一層のご指導をいただくべく存じます。

同窓会長 辻 嘉

(昭和10年卒)

また新しい流れが

津高同窓会報

発行所 津市南町3丁目1-1 津高等学校 同窓会事務局 0592-28-0256 共立印刷株式会社

百十周年近づく.....2面
私と京都.....3
スウェーデンで.....4
素晴らしのクラス会.....4
「悠々蒼天の日」.....7
校歌誕生、応援歌は.....7
修学旅行の再現.....7
同窓会三重校部会.....5
同窓会ハリーデー報告.....8



温故夜話

色井 秀 譲 (大正12年卒)

温故知新というが、知新は及びもつかないので、老人は過去を語りたが、しかし私くらいは、来るとそれほやけしてしまう。末来を語れと言われても、語れるのはお浄土参りのことばかり、それでは採香臭くなるので、故きを語すこととしたい。

私は大正七年四月三重県立第一中学校入学、大正十二年三月三重県立津中学校卒業である。このこととあり、履歴書に記すと、転校はいつだと言われそうである。大正七年九月一日、初の夏休みを終って登校すると、正門の石柱に新しく「三重県立津中学校」の看板がかかっていた。ところがどうだろう、その夜のうちにその看板がはずされて安濃川の土手下に捨てられていた。これが一日三日と続き、看板のない正門となった。誇り高き一中生のさやかな抵抗である。クラブ活動などという気のきいた名はなかったが運動部はあった。野球・蹴球・陸上・弓道・短艇・剣道と柔道とは正課となっていて、どれかをやらねばならなかった。体操も正課で、徒手体操は稲葉先生、あだ名は鬼、こわい先生だった。軍事教練は伴中三郎中尉、人情味ゆたかな将校だった。水泳は準教授、一学期の試験が終わると短艇授業の後、費崎海岸へ行く、不穏なコンクリートの土手なく、白砂青松、砂浜も広がった。水着などまだ出現せず、六尺幅に白絹を巻きつける、五丁・十丁・二十五丁・五十三里半、五里の試験があつて、五里とおれば種々の絆が黒になる。あこが

110周年近づく

楽しいイベントに 多数の会員の参加を

いよいよ津高創立百十周年です。同窓会では、みんなで百十周年を「楽しむ」という主旨で次のようなイベントを企画しています。各種イベントにお気軽にご参加下さい。

三、歌謡の建立

「津中学校校歌をはじめ
「此れで」(一編)なる」「浜
千鳥」(春よこい)「雀の学校」
などを作曲した山田龍太郎氏(明
治43年卒)の歌謡を作ります。持
様よくご存知の曲も多数作曲され
た氏の歌謡の除幕式は、津高文化
祭の一般公開(平成二年九月二
三日)にあわせたいと考えていま
す。当日はコーラス部とともに一
緒に歌おうではありませんか。

第二回美術展

第三回津高同窓会美術展を創立
百十周年を記念して、平成二年八
月一日(八月五日)に創立美術館の
県民ギャラリーで開催することに
なりました。

初めての企画であった前回同
百数十点が出品されましたが、さ
すが各所で活躍なさる同窓の諸兄
姉の情の深さを感じる様な作品
が多く、圧巻でした。



美術展応募要項

名称 津高同窓会美術展覧会
主催 津高同窓会
会場 三重県美術館 県民ギヤ
ラリー
会期 平成二年八月一日(八月八
五日)
展示作品 第一部(絵画)、第二
部(彫刻)、第三部(デザイン
工芸)、第四部(写真)、
第五部(書)の五部門で作品
を募集



記念ゴルフ大会

創立百十周年の記念事業の一つ
として、スポーツ大会を企画され
ることになりました。

余暇は遊ぶ事ではなくて生きたい
かな? として、その中に心の解
放を保てる物をつけて行きまし
よう。その中の一つです。このよ
うな同窓の美術展にも、出張して
みて下さい。新しい豊かさがはじ
まっています。

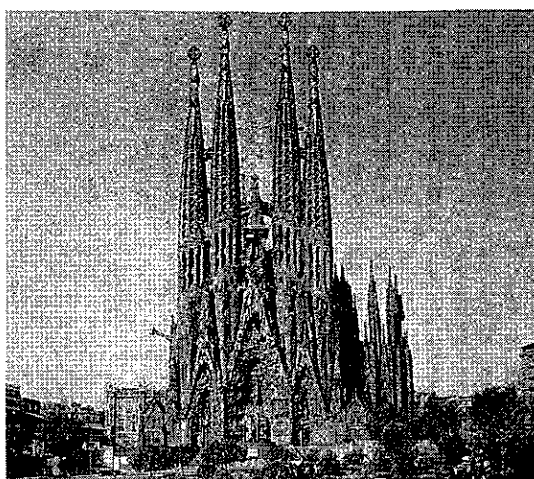
大勢の方々の参加を期待してお
ります。

岩崎正博(昭和18年卒)

情熱の国 スペインの旅を企画

スペイン人の話し好きは有名で
ある。何かを話し、後で考える
というスペイン風習慣はまた生
き続けているようです。

どの地区を歩いても印象的な
は、陽気な黒い瞳と黒い髪。そし
て、



て開放的で親しみやすいにやかな
な笑顔で答えてくれる国民性だそ
うです。
この情熱の国スペインに津高同
窓会は百十周年を祝って旅立ちと
いう企画を立てました。

津高でも 資料展を計画

母校では、平成二年九月三日
創立百十周年記念文化祭の公開日
に資料展を行います。今同様に
次のような資料に重点を置きたい
と思っています。二度の大災のため、
津高女にはほとんど揃って居り
ませんのでぜひとも提供を願ひ
をお願いいたしたく存じます。

(一) 学校・生徒会・クラブ・校友
会・有志発行の新聞・雑誌・パン
フレット

(二) 津高新聞「沖」(青桐)
例(教科書・参考書・ノート・問
題集・入学案内・入学説明・卒業
式関係の印刷物)

(三) 津高・津中・津高女関係のそ
の他の印刷物

資料展は九月二三日、日限りで
すが、準備の都合がありますので
平成二年八月末日までに二報
いたたく、当校資料展係までお
送りいただければ幸いです。

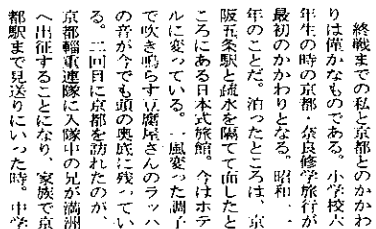
五、競技方法 十八ホールズスト
ロークプレー(ヘリア方式)

六、クラス分け
松組 シニア・レディス
女子及び六〇才以上の男子
竹組 六〇才未満の男子
七、参加資格 津高同窓会会員
●同窓生十名以内
●定員 百六十名
(先着順)

八、申し込み方法と期間
●平成二年七月三十一日
●期限内に官製ハガキ一枚に、
氏名・住所・氏名・生年月日・
卒業年度・電話番号・ハンデ
ィキヤップ、性別を明記の上
申し込んで下さい。一学年十
名、全体で百六十名を限度と
し、定員になり次第締切しま
す。

九、申し込み、問い合わせ先
津高同窓会事務局ゴルフ係
竹林武一(昭和37年卒)

岩川次郎
(昭和16年卒)



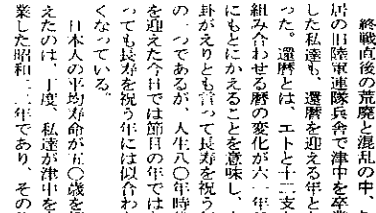
低年の頃としか覺えてはいない。兄はイモ・パンの戦いに参加したが、無事帰国除隊のなり太平洋戦況がも召集されず健在だったが今は亡くなくなっている。昭和十六年三月津中卒業と同時に旧制大阪高等学校へ入学。大阪で二年半の戦時下の学生生活を送ることになるが、息のつまりような地のような生活と較べる。とまるで別天地のような自由さを味つたものである。この二年半、陸上競技部部長を置き、専ら身心の練磨を勉めた。大阪と京都とはほんの五キロしか離れていないのに京都にいくことはなかった。ただ近畿タイガーハイが京都で開催された。京大農学部グラウンドや京都植物園馬場グラウンドで青春を謳歌。試合終結後先輩に疏水上に屋形船を浮た料理屋でカキ料理をおこつてもらい、ハッパをかけら

れたことが懐かしく思い出される。私と京都のかかわりが本格的に始まるのは学徒出陣（昭和十八年二月）で足かけ三年の兵役を終え京大法学部（復学した昭和二十年）の初め頃からである。下宿は神樂坂中腹のしみた屋敷の古ぼけた家で「真田さん」という老女が静かに余生を送りながら営んでいる。下宿屋の間である。医学生が多いたが私と法科生は私別府清、郎さんといふ二人だけだ。別府さんは津市の結城神社の近くとうかがつていた。大変ハッサムでいつもキチツと学生服を着なしておられ、ガールフレンドが離れの茶室の彼屋敷へ訪れてきていたのを羨しく思いました。中学同級生では野村健一君がた。彼農学部前の姉さんの家に居候していたのだが、

別府さんは高等学校が同じ八幡と
いうこともあってお互いよく行き
きた。神楽堂と豊彦部前とは吉
田山の東側の山道と通じてほんの
十五分位のところ。春夏秋冬四季
を通じ大変景色のよい散歩道でも
ある。又先輩の竹田友三さんが思
い出される。講義のノートを一度
貸しただけの仲であつたが、彼が
中学の校内弁論大会で「英雄上り
て」という演題で熱弁を振るわれ
た時のことが頭から離れず、竹田
さんというより、俗称「英雄」で
通っていた人だ。バンカラ風も中
学時代と変わっていなかった。同
じ頃中学同級生には伊藤隆吉、奥
澤清史の両君（何れも文学部、長
澤正修君（経済学部）がいたよう
だが、何れも後に知ったことで、
当時親しく交つていたわけではな
い。ただ伊藤君は大学卒業後も京
都に在住された昭和四一年津高京都
同窓会の創設に大変尽力され長く
指導をされたのだが、残念ながら
昭和六一年に急逝された。ご冥福
をお祈りする。

昭和二十三年春に大学を卒業、大
同先輩の養兄の紹介で今の会社（
京福電気鉄道㈱）に入社、爾來四
一年余勤務し続けることになるが
昭和四〇年初期までは会社業務や
家庭の雑務に追ひまわられ郷里
の一志郡一志町（堀ののちに豊
岡位のことであつた。当時京都都
在住で唯一津中同級生文通のあ
つた葛山輝清君（京都府立大
後京都で開業医）の誘いで津高京
都同窓会のメンバーに加えていた
だいたのは四〇年代もは頃だた
らと思う、京都居住津高同窓は
百人以上はおられると思うが、定
時總會・懇親会を三回の会合に
出席されるのは二割程度で、皆條
方の無つての参加を依頼した
もののだ。私は小西大先輩（昭和
津中卒、京都府立役所卒）後現
在京都で開業中の後を付けて昭和
六一年に会長をひきさけることに
なり、その年の〇月に津高京都都
同窓会（〇周年の總會）を開催し
今に至つて。津中・津高の方多く
つながる京都居住の諸君の多くな
が、この京都を住むの住家となさ
るのではなからうか。勿論私もそ
の一人であることに間違いない。

（京福電気社長）

尾崎 彪 夫
(昭和22年卒)

は諸外国に例を見ない早い速度で高齢化が進んでいる。

長生きは、人類最大の夢ではあるが、高齢化社会が進むと二体、三人などになるのか、また、我々一人ひとりがどのようにしてけば良いのか、長生きを喜ぶことの出来る社会づくりのためには、どうすれば良いのか、皆が真剣に取り組まざるを得ない時代を迎えて

健康長寿命が延びるのは大いに結構であるが、長生きをしても、ぼけたり、寝たきりの人が多くなれば、その人達の介護、世話も大変である。高齢者の所得、就業、保健、介護などに生かす、何等高齢者をめぐる諸問題は極めて深刻で、その対応は、ますます重大な課題になる。

高齢化社会を本心に明るい、幸

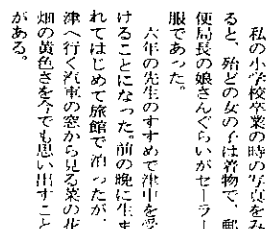
家庭で安心して暮らせる社会、健康保険、年金制度、高齢者の世話、介護等が若年層に大きな負担にならず、社会全体が活力を失わない社会、このような社会を構築していくことがこれからの国、地方公共団体に課せられた使命であり、企業、個人にとっても大きな課題であると考える。

人生八〇年代のライフサイクルの変化に対応した新しい社会秩序形成のための各般の努力が強く望まれるところである。

誰にでも老いは必ずやってくる。一人ひとりが高齢者問題を自分自身の問題としてとらえ、何が出来るをなすべきかを考え、求め、役割を積極的に果していくという取り組みこそ、明るく幸せな高齢化社会実現へのアプローチと思わ

(三喜眞出納長)

松枝敏彦
(昭和19年卒)



私の受験番号は三十五番落。二人のひととすべし四つの人近く来たらしい。ところが四つはすべるといふ妙なうわさがあった。

試験當日、附城小、義正小等の受験生は、一つの学校で三十人ものところがあった。身軽な服装で突ったり、喋っていたりしており、また眼鏡をかけているには圧倒された。

雨天体操の七よめきの中で、合格番号の中に三十五番をみつけた。数日後、帽子、制服、靴、英語のノート等を買ってもらい、両親の笑顔とともに、嬉しさがこみあげた。

私は、年組、それから五年の間にいろいろな先生、先輩、友人に出会った。個性溢れるすばらしい人達であった。私の血となり肉となった。

五年、四年は肩から斜めにかける白いカバンに白いゲートル。三年、二年は皮のう。私達は、布の背のうにつけるゲートル、度々輩のように恰好がよかった。先輩の先輩木崎さんが、或る日突然の皮のカバンをお前にやると言った。それを持つて学校へ行ったが、教師も先輩も何も言わず無事だった。

当時は、無断で飲食店や映画館へ行ってみたりする傍旁、汽車までの車輪が男子生徒、後が女学生、津沢のプラトホームでは、やたらスカートの女学生が目に見え

マの影刻からはじまる肉体的躍動
 まで強い感動を覚えた。その後暫
 くして、上級生の村井さんからお
 前陸上競技部に入れとすすめられ
 白川小出身の若林 碩さんと明け
 て暮れても飽らげ投げることに
 なった。

その頃、陸上競技部は高梁と対
 抗マッチをやっていた。つまり胸
 を借りていたわけで、先輩が走っ
 て来ると新入りの若林君や私はチ
 ューブのサロメチルを持って先
 輩もムクジャラの脚に寄り込む
 役であった。

師範学校とやる時は妙に殺氣だ
 っていた。やはり「坊ちゃん」の
 影響であつたのかも知れない。

中学二年の一月一日の午前

業の伊藤先生が卒業生で各名前を数
 えてくれた菊に似たフロックスド
 ラモンデーの白い花が咲き乱れて
 汽車から降りて自宅まで急いだが
 玄関に入ったら多くの駄と線香を
 の香りがあつた。父は逝つた。

私の家は真宗の寺であつたし、
 世事のこともあり、母は信じてん
 だ。私は半学期の成績が下がって
 担任の歴史的松田先生が、二學
 期の最後の日に私を職員室へ呼ん
 だ。「松枝、氣持はわかる。頑張
 らんとイケシエンゼ。これ逢通
 頑張れ。」と言われた。

その時、私は立つたままで、涙
 がとめどもなく次から次と頬を
 流れたことを憶えている。それけ

會で優勝してきた津中にも、二八式歩兵銃をかついて経ヶ岨へ登った。東北出身の小野寺先生は、足を開いてハの字型で登れば滑らんと云った。手袋無しの手は鉄の床し板で覚えがなかつた。

津から久居を通り、夜行車で高川の上流をザブザブ渡り、宇治山田で夜明けになった空へ向かつて空砲を撃ち、隣りの友人の顔を見たら、一晩でやせていたこともあり、松根抱瀧より、鈴鹿海軍航空隊では六挺のロケットも今日では懐かしい思い出である。

また一方、休みに遠い同級生の自宅を訪ねてゆっくり遊ばせてもらったり、学校の帰りに友人と

津中陳川（この期生として卒業した）
津中第六〇期生として卒業した
とにかけ、私は昭和九年三月、
津中陳川（この字を名、声に出す）
時 私は今でも胸のとまぎれを感じ、
先輩が教えてくれた古河のこと、藩校から出発した県立一中の歴史と伝統の深みを感じた。私の時は刑部にかかわっていた。私のこの陳川魂、津中魂は、私の心を発聲させた。「湧いて起てや時は今ぞ」である。
私は二八年間芹序で勤め、現在関町政を担当させておたいとするこの間はじめてお会いしている。先輩、後輩の諸氏は陳川、津中、津高という言葉だけで、気脈相通じ、旧知の如く交誼をいただいている。

「竹を貫く烈風の白鷺飛はず三冬に」であり、「馬に銀の鞍おいて」であり、「オールに吹くや潮の花である。これを口ずさむ時 私は青春の血がよみがえり、秘めた力がほととほされるのである。私はこれかも、この歌を自分の心としていくつもりである。」
津高同窓会の大きな発展と諸先輩ならびに会員各位のご健康とご多幸とあわせて、格別のご指導・ご鞭撻、力添えを賜わらんことを念願申し上げる次第である。（鈴鹿郡関町長）

スウェーデンでの 素晴らしきクラス会

北川 智一（昭和18年卒）

昭和六、七年暮の東京、八雲で、同級生の野村豊君がスウェーデン大使に赴任した話が出ると、彼の在任中に北歐ツアーを計画し、スウェーデンでクラス会をやつてはという提案があり、たまたま私が昨年六月リタイアしていらか暇ができたので、一年前に大使の意向を伺ったところ、大歓迎との返事に勇気百倍、数回の連絡の結果、今回の壮挙と相成った。参加者は三重から四名と夫人四名、大阪から一名、東京から五名と夫人四名、総勢、九名である。

六月四日成田に乗り出して出発、デンマークのコペンハーゲンで観光、泊、ノルウェーは、ベルゲン・パレストランド・ゲイランゲン。

野村大使が多忙なスケジュールのなかを、懇々空港まで出迎えてきてくれたのは、同感した。大使公邸に直行したバスも、初めてお客を乗せるというおニエー、大使の細かい心遣いが身にしみて嬉しかった。一同が大使公邸へ到着したのは一八時であったが、六月の北欧の日は高く、二、三時頃まで明るいのである。また昨日ま

ル・オスロで各一泊のバスの旅で、では雨であったのが、今日は久し振りに快晴となり私達を迎えてくれたストックホルムであった。先づ飲物で喉を潤し、一息入れたところで記念の集合写真を撮った。用意してきた津中の小旗をもって大使ご夫妻を中心に、ランダで公邸をバックにカメラに収まった。続いて二つの広間のソファアに腰をおろした一同に、大使は中央に用意されたアイスを片手にメモに従って約一時間にわたり、親切丁寧にスウェーデンの生いたち、日本との関係、スウェーデンの現状を経済・文化・福祉・国防等の面からお話をいただいた。大変勉強になった。その後個人の記念写真というところで、公邸の芝生にデー



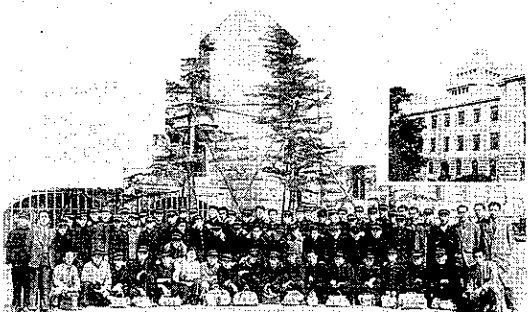
長島 幹生（昭和20年5卒） 二科会写真部会員

ブルと椅子を用意して大使夫妻と夫々のカップルで邸の湖をパシクに写真をとった。続いて夕食となったが、大使夫人の心遣いと、公邸専属のシェフが腕をふるったスモーガスボードの日本食版であった。（スモーガスボードとは北欧の代表的料理で日本では、イキンのようなもの。）週間程美味い日本料理を口にしたいなかつた私達には、何よりのプレゼントであり、腹一杯だった。食後は三々五々、大使、大使夫人を囲んで和やかな懇談の場がもたれたが、あつと言ふ間に二時になったので公邸を辞し、ホテルに向かった。

翌日の午前中は市内観光、市庁舎とガムラスタン（旧市街）を見学。午後は大使ご夫妻とスカイセーという野外遊園地のなかにあるレストラン「ソリデン」で、楽しい昼食クラス会を実施した。その後、ミレス・ゴードン彫刻園に案内された。三日目は、ドロングホルム宮殿を船で訪ね、午後大使のご紹介で、観光客では初めて核シールドの見学をさせていた。国防省のバックレ、イ少佐の案内で丁寧な説明をうけ



たが、日本はあまりにも核に傾倒心であつたことを痛感した。その夜二時、シリヤラインの豪華客船でストックホルムを後にし、夢のようなバルト海クルーズを経て、翌二日フィンランドの古都トゥルクから首都ヘルシンキへバスで観光。一泊、一四、一五の両日は、北欧のレニングラードの市内観光、夏の宮殿、エルミタージュ美術館



等を見学し、一六日はモスクワを訪れ、赤の広場、クレムリン宮殿、その夜二〇時過ぎ日本航空に搭乗した。

（離陸寸前、搭乗機のエンジンに無事成田空港へ帰国し、この素晴らしき北欧、ソ連の旅の全てを終了した。）

修学旅行の再現

大西 浜子（昭和26年卒）

平成元年七月七日、午前十時に津駅西口を出発した貸切観光バスが、箱根小涌園に到着したのは、短か秋の暮暮れようとする夕方近くでした。途中、箱根登山鉄道の路切では、約四〇年前にこの電車に乗った事、スイッチバックをする運が大変珍しかった事等、当時の思い出のオノノリさんぶりを懐かしむが、おぼろしくあふれ、それに津からの到着組が合流して五人になりました。今夜、こゝで津高二六同窓会が催されるのです。箱根は、昭和二五年の秋、当時高三年だった私達が修学旅行で、泊した所です。木造でこじんまりとした強羅の旅館に泊ったのですが、今回はホテルを中心に観光施設が散在する総合レジャーセンターという豪華さでした。同窓会は午後六時、記念撮影から始まり、校歌の斉唱、物故者の黙祷、会計報告等があった懇親会に入りました。今回は、東京方面に在住の皆さんが多出席されましたので、卒業以来初めてのお会いする方もあり、長い間交流がとえていた方も、そこは同級生のこととすぐに年月を越えようとけにぎやかに、懐かしいひとときは青春の真実でた誰か自分の未来がわからなくて、甘すっぱい夢に胸をふくまぬながら語り明かしたものでした。でも、今はすっかり熟年、それぞれ職場もある家庭でも、そろそろ肩の荷をおろせそうな年齢に近づき、気象に思ひ出話をしながら時間の過ぎるのを忘れ、温泉に入ったのは夜更けの事でした。

翌日は彫刻の森を見学し、バスでガイドさんの案内を聞きながら、一気に湖尻に着きました。記憶が

座談会

張りだ・気品だ・果さだ

司会・長谷川 寛昭(二〇年津中卒) 三重県立津高女学校創立九〇周年を迎えるにあたり、それぞれの時代の女子が生活で心に残る話をお聞かせ下さい。

今村 房夫(二二年卒) 当時は県立女学校は県で唯一の校舎で、試験は四人に一人という難しさで、木綿の着物に海老茶色の袴、赤い鼻緒のひより下駄で通学しました。髪は後へ束ねて後ろから一寸に髷が、おさまるよう、朝礼の時間に物指ではかられました。登校の途中、後から先生がいらつくとその場で止まり先生をお送りしてからその後から歩いたものです。校内



では職員室や校長室の前は、頭を下げて通りました。それで視察にいられた先生方が、生徒の姿勢が悪いと、お話をされた事があります。二年の三月、校長先生にもお話を伺った事があります。二年の三月、校長先生にもお話を伺った事があります。二年の三月、校長先生にもお話を伺った事があります。



皇后様は、神上下の御石物で髪はお支かきに結われ大変お美しい事をお覚えたい。学校ではお茶、お花と共に弓道が必修になっていました。寄宿舎の裏に茶畑がありそれを摘んでお茶の作り方を教えて頂いた記憶があります。寄宿舎といえは、チフスが流行しそれが先生や生徒の間に広がって大騒動になった事があります。

皇后様は、神上下の御石物で髪はお支かきに結われ大変お美しい事をお覚えたい。学校ではお茶、お花と共に弓道が必修になっていました。寄宿舎の裏に茶畑がありそれを摘んでお茶の作り方を教えて頂いた記憶があります。寄宿舎といえは、チフスが流行しそれが先生や生徒の間に広がって大騒動になった事があります。



学校に居ました。国が荒れた。それが過渡期という大混乱の時期です。それから諸先輩のように前年の大東亜戦争が始まり私達は全く戦時下の女子学校生活でした。授業中に千人針がまわってきた事もありました。一年の後半から英語は、二組は珠算、実業の手伝いになりました。農家の手伝い。何人かの友人が三年で学校を去りました。私達は共に県立に学びつづけた友情をいまでも大切にしています。

三重桜総会報告

にも思われ、来賓として辻岡同窓会副会長、上野津高校長、臨席の上、それぞれ祝辞を頂き、又恩師の長瀬大石、松岡、別所先生及び学校事務局長から長谷川先生をお迎えし、同窓生約百二十名、大正八八年卒、昭和四四年卒、が出席して、学年別に座を囲み、懐かしい柳川の思い出話に花を咲かせ楽しい一日を過ごした。

平成2年度(創立90周年記念) 三重桜総会案内

とき 平成二年四月二二日(日) 十一時より
ところ 松坂屋(二志郡香良洲町)
会費 五、〇〇〇円
催し物 三重桜資料展
備考 日程については、後日学年幹事を通じて連絡いたします。

「運動会に一度も優勝せずに卒業するのは情けない」と高畑校長先生にハッパをかけたそれに応えて見事優勝した事、香良洲リレーにも優勝した事等が五年生の思い出です。

伊藤ミヤコ(昭二五年卒) 一平穩時代に入学し自由な活動させてもらいました。四五年頃からは非常勤時代に入学し、香良洲リレーにも優勝した事等が五年生の思い出です。

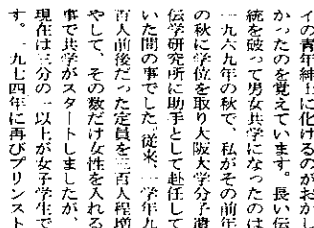
山田 都子(昭三三年併設中学校卒) 一私達は戦後の混乱期に女子校生活を送った県立女子校の最後の卒業生です。正確にいうと女子校の卒業ではなく三重県立津高女子校併設中学校卒業ということになります。これは私達の学んだ入学したの三年からは地元の中



平成になって初めての総会は、四月一六日(日) 昨午同様、津南工業会第五階で開催された。天候

太田 紀子 (昭和33年卒)

市から車で、時間の、人口二万五千人程の静かな街です。歴史の古く深い街がある地、いわゆる「ブリクスタンの戦い」で、ワシントンが率いる独立軍と英軍が戦い、戦局が独立軍に好転したと伝えられている所です。



三年前の夏、今は三き母が一度だけこちらに私を訪ねてくれました。喜こんでくれたキャンパスでのひと時を思い出して、筆を置かせていただきます。

生のモットー、その授業の迫力や
凄さ、峻烈なところはたえまも
ない先生、要義度の高さに、私な
ちはそんな馬鹿なと、人間と出
来るのがないし内心思つたもの
をそれを遂げた先生は、あるが
時「君たち、英語のどんな語で
もいろいろ言つてごらん、僕はそ
の単語が、コンサイス英和辞典
クラウツ英和辞典の二冊で、それ
の何頁どの辺に載つてゐるかを

駒田先生の
こと
真弓俊郎
(昭和43年卒)

「真弓君、抽象面の勉強をしながら色彩のことがよくわかるようになるよ」と駒田先生は僕の絵をながれから語られた言葉を思い出して、数年前から体調をくずし、舞いに行くなびにガリガリに痩せていかれた。

人だつたと彼は言う。
「しんどいけど、キラッとむこうに光るものが見えるのだ。つらくとも、この道からは隠れられないし、あの光になんとか届きたり」といわれた。
そんな先生の姿はもう見られない。しかし遺された作品から、再び我々が学びとれるような気がする。心から、ご冥福をお祈りします。

今回私の近況と大学のお話をしたが、次にフリンストンの大学の紹介をさせていただきます。と思ふ、

卓大卒業後間もなく渡米、ニューヨーク州、ブルックリン、フリンストン国立立大学に一年間の助成生活を経たんだが、フリンストン大学で、

百五十年に近い歴史を持つアイビリーリーグと呼ばれる東部有名私立大学の一つです。現在、大学生約五千人、大学院生七千七百人の比較的小さな大学ですが、工学部

射しのもとに、新入生も含め五千人の大学生と共に新学期を迎え、六月に卒業生を送り出して以来、静寂そのものだったキャンパスに生氣が戻つて來た。期待に満ちた活氣あふれたこの時期は、一年中で私の「最も好きな季節」です。広く美しいキャンパスを思い思いの服装で、授業から授業へと移動する学生達の姿を見ては、二十五年間のこの大学の空を思い出し、ひと感します。

[illegible]

ン大に因つた折には、その愛したマヤン伯の情眼に驚まされた。その後も学生の顔が次第に変化し、ユダヤ系、黒人、アジア系が多くなったのが目付く。学生人種だけでなく、社会面、経済的側面、クランドも様々と聞きます。金持ちの子弟の教育にたずさわった大学から、幅広い社会背景を持つ男女の中から、明日の社会の担い手を育てる大学へ転換したと書けると思います。

時代は変わっても教育者な伝統

「ドラさん」と憚らずに呼んで、
大川親道 (昭和20年卒)
畏敬してゐた。われらの小川先生
の訃報に接したのは、平成元年
三月三日朝のことであつた。享年七
八歳（心不全）と逝去された。鈴
木正治先輩（昭和十七年卒）と共
告別式に参加させて頂いた。
昭和十五年四月、私はあこが
れの津中學校へ入学を許された。
たちのクラスで英語担当で、天
は努力の賜と、上々の成績を

先生の軍門に降つたのであつた。一路とゞね廻りはなく、しかも二冊の辞書やペーじの数の辺にいう所までびたりのお客であつた。同ただたは書を巻くばかりであつたそれからというものは、小川先生からいろいろ奇難な問題を出されても皆は歯を喰ひしつてがらばつた。

世事にうとく、一学究・徒として終つた先生のご冥途切にお祈りする。

以前、群にスケッチを強要した時、使った絵の具を、ペチで短くし、絵の具箱に整然と並べておられたのを見て、絵のことで、他のことを、はかばかする中なく、わが道を行く姿勢を感じさせられた。給油時代を主宰する菅原君は、子供時代、夏休みのお絵描き教室で教えを受ける「オズ、上手、上手、」と、もっとちゃんと色を作ったことを思い出すように受け取ったことを思ひ出すように受け取り、刻々、刻々、そのような



今夏の年に任
任していただ
いたクラスが
世話人となり
四十数名が出
席して開催さ
れました。

この年卒は
一年ごとに同
窓会を開いて
いますが、い
つも出席い
たいている
米本先生に、
もう一度思
いの授業をお
願ひしたのが
昨年八月でし
たから、半年
かけてやっと
スルヲヤ一 教室のウチでとな
つてゐる女生徒は、キリストを腰に
さつて席に付まなうが、仕事
に追はれ、ばなしで、十数年を過
して来、青年生徒は、えらいこを
始めてみたんだと、なかなか尻
が落ち付きませんでした。

出席席を見たんで生落で、それ
それの望見くらべながら、出立を
とつて、たきましたと、一卒に十
数年を過て、イガグリ頭におカ
りまふのの懐しい教卒がよみがえ
りました。

講義は、かげろう日記から、
「町の路なる女」(如た産屋)
「孫正のおとしね」(「岩木」)
とく。

「町の小路の女が夫兼家の浮
氣の相である、その女が男子を
氣の相して聞くと、胸をふり死

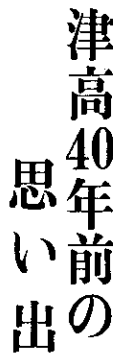
家の心は女から離れてしまふ。ヤツ
 たねて養育の子ではなかつた。
 ままある。彼女は胸ひらき、動物
 のように凱歌をあげる……。
 道綱の母の愛と憎しみの葛藤
 結婚生活の中から、女とは、男
 には生くる人間とは問ひ、人失は
 いかに生くべきか授業は進みま
 ー今日はあてでないで下さい。テ
 トトトトトトトトトトトトトト
 ではないやうなと始まる。録
 音だが先生の機嫌にすい込まれて
 まいります。
 いまおかげうけつ日記の世界に
 生きている生徒も、企業間戦争、出世
 レースに翻弄されている生徒も、
 を開いて直さなければならぬ五三
 び。またま本先生から大きな
 前頭をいただくことになりました。

津高40年
思
高瀬



私は津高の教師として着任したのは千度四〇年前、昭和四年十月十五日でした。新制外居中学からの転任です。通常の定期人事

すみずみの秘密は何なしと
第二部 懇親会も先生を開く盛



高瀬義孝
(昭和15年卒)

い前の
出の

満足感、充実感に満ちた顔を思い出すと、道路の暗さも冬の寒さもちつとも気にならずに帰ったことをよく憶えています。

授業があるので殆んど夜ばかりで
した。昼と違って能率が上がらず
全員ハチ巻き姿で頑張ったもので
す。今から思えばお互い若かった

それにしても、なんと先生のお元氣なこと。教壇に椅子を用意しようか、黒板は低いほうが良いのではと心配しました私達でしたが五分の授業中ますます大きく教室一ぱいに広がる声での授業。

今年寿寿を迎えられて、そのみずみずしさの秘密は何だろうと、第二部、懇親会も先生を開眼で盛

り上がりました。
ああ出席して良かった。次回の授業はなに。佐治三善兵の思い出の話も聞きたい。歴史の先生と一緒に古代史探訪の遠足はどうだろう。思いきってバット修学旅行を企画してほしい等……放課後はついオオシ時になってしまいました。

またた赤い表紙の問題集、いわゆる「赤本」でした。

しかし、その頃の生徒は学習、復習をしかりやってくるので教える側としては大変楽でした。もつとも、熱心な生徒達だけに、自分の解らないところを放課後になると、職員室に質問にやってきました。私も一生懸命それに応えま

自由に選択できるのが原則です。従って生徒の希望の多い講座、逆に少ない講座がでてくるのは当然でこの組替えが大変でした。講座の数と希望した生徒の数を一枚一枚カードをつくり、それを大きな長い紙に貼りつけていくわけです。一度カルタ取りの逆のやり方で講座をうめていきました。

我孝（昭和15年卒）
異動期でなかったのは、当時、若林友先生が病氣で休んでおられたのでその補充（応援）が理由でした。

追悼
小川武先生を

当時は戦後間もない頃で教科書もお粗末なものでした。特に三年生の授業は問題ばかりギッシリつ

キヌラム」の編成した。これは一つのグループになつていて、リーダーは国府直義先生、他の仲間には国語の平松和先生、体育の家崎満大先生が入れられました。このカリキュラム編成は、三年半ミックスで「科選択制」でした。生徒一人一人が好きな科目を「言うからむ」と言われた。半信半疑の私は出て来ればこの際先生をへこませるみよう、と、各辞典

私は今のカリキュラム編成を九
年間やり直したが、最後の方はパ
ズル解きのような楽しみに要わっ
てきました。最初の頃の苦労もっ
そのように感じられました。もし
て、これらに達成したときの喜びは
またひとしおの感がありました。

それにしても、なんと先生のお元氣なこと。教壇に椅子を用いたようか、黒板は低いほうが良いのではありませんか配りました私達で、たがは五〇分の授業ですますすきき、教室一ぱい広がる声での授業。

今年喜寿を迎えられて、そのみずみずしきの秘密は何だろうと、第二部 想親会も先生を開いて盛

津高40年

思

り上がりました。
あゝ出席して良かった。次の回の授業はなに。政治・算其の思い出しの話を聞きたい。歴史の先生とと一緒に古代史探訪の遠足はどうだろう。思いきつて、マツト修学旅行を企画してほしい等……放課後はついネオト時になってしまいました。

る（赤本）でした。その頃の生徒は予習、復習をしっかりとやっていたので教える側としては大変でした。もともと、熱心な生徒に遠慮だけに、自分の解らないところを放課後になると、職員室に質問ややってきました。問題を解いたら命にのぞきました。私を生かしたとき、生徒の同感、充実感にわたる顔を思い出すと、道路の暗さにも冬の寒さもちつとも気にならずに帰ったことをよく憶えています。

自由に選択できるのが原則です。従つて生徒の希望の多い講座、逆に少ない講座があるでなくてはならない。この組替が大変である。講座の數と希望した生徒の數を、一枚一枚カードを作り、それを大きな1度方角の紙に貼つていきわけます。座次をうめいけました。

また編成作業は、昼間はお互い、授業があるので殆んど夜ばかりでした。昼と通つて能率が上がったので、今から思ふに、お互い若かった

我孝（昭和15年卒）
異動期でなかったのは、当時、若林友先生が病氣で休んでおられたのでその補充（応援）が理由でした。

当時は戦後間もない頃で教科書もお粗末なものでした。特に三年生の授業は問題ばかりギッシリつ

追悼

小川 武先生を

キヌラム」の編成した。これは一つのグループになつていて、リーダーは国府直義先生、他の仲間には国語の平松和先生、体育の家崎満大先生が入れられました。このカリキュラム編成は、三年半ミックスで「科選択制」でした。生徒一人一人が好きな科目を「言うからむ」と言われた。半信半疑の私は出て来ればこの際先生をへこませるみよう、と、各辞典

私は今のカリキュラム編成を九
年間やり直したが、最後の方はパ
ズル解きのような楽しみに要わっ
てきました。最初の頃の苦労もっ
そのうちに感じられました。もし
て、これらに達成したときの喜びは
またひとしおの感がありました。

それにしても、なんと先生のお元氣なこと。教壇に椅子を用いたようか、黒板は低いほうが良いの、では心配しました私達で、たがは五〇分の授業で済ますすき、教室一ぱい広がる声での授業。

今年喜寿を迎えられて、そのみずみずしきの秘密は何だろうと、第二部 想親会も先生を開いて盛

津高40年

思

り上がりました。
あゝ出席して良かった。次の回の授業はなに。佐治、繁兵衛の思い出の話も聞きたい。歴史の先生とと一緒に古代史探訪の遠足はどうだろう。思いきつて、マツト修学旅行を企画してほしい等……。放課後はついネオト時になってしまいました。

る（赤本）でした。その頃の生徒は予習、復ししかりやつてくるので教える側としては大変ででした。もつとも、熱心な生徒に遠だけに、自分の解らないところを放課後になると、職員室に質問やつてきました。問題を解けないのに応えませんでした。私と命の星の生徒の間、暖かい交流にわたる顔を感じ出すと、道路の暗さや冬の寒さもちつとも気にならずに帰つたことをよく憶えています。

自由に選択できるのが原則です。従つて生徒の希望の多い講座、逆に少ない講座があるでなくてはならない。この組替が大変である。講座の數と希望した生徒の數を、一枚一枚カードを作り、それを大きな1度方角の紙に貼つていきわけます。座次をうめいけました。

また編成作業は、昼間はお互い、授業があるので殆んど夜ばかりでした。昼と通つて能率が上がったので、今から思ふに、お互い若かった

